

田淵 放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業という賃金改善に要する補助金があるが、多久市がまだ使っていない理由は。

答弁 支援員は昨年度まで日々雇用であったため一律の賃金でした。今年度から会計年度任用職員になり、この制度を利用できるようになりましたが、今年度は国の予算が確

田淵 放課後児童クラブで遊びや生活を通し多彩な学びや経験をし、豊かな人間性や社会性を育むのは大変だと思うが、現場からそういった声は上がっていないのか。

答弁 田淵議員が言われたことは家庭、学校、地域社会全体の、我々大人すべてが関わって行うべきで放課後児童クラブ支援員のみが担うものではないと思います。支援員も社会の大人という立場から取り組んでおられます。

放課後児童クラブについて



田淵 厚

田淵 放課後児童クラブで遊びや生活を通し多彩な学びや経験をし、豊かな人間性や社会性を育むのは大変だと思うが、現場からそういった声は上がっていないのか。

田淵 放課後児童クラブに入っていない子どもで、下校時、スクールバスが利用できない、一緒に帰る地域の子どもがいない環境で、兄弟がいたりすれば、各々の迎えに行く家庭の負担もある。そうした家庭への対応を検討出来ないか。

田淵 マネジメントできる支援員1名、各クラスに1名のリーダーを配置し、学校、地域、医療機関だけでなく保護者の組織をつくれれば、より連携した運営につながるのではないかと。

答弁 マネジメントできる支援員を置くこと、おそらく管理的な立場になり、本来支援員が行う業務が出来なくなる可能性がありますので、管理的立場の支援員を配置する予定はありません。



放課後児童クラブの様子

田淵 4年生以上では授業時間も多し、下校時間はそう変わらないが、問題は1年生、2年生です。そういう児童には、放課後児童クラブでの対応を勧めたい。

1時間程度、図書室で本を読みながら兄弟の下校時間を待つというものは現状行っていますが、これも全ていつでもいいというのは難しいところです。



牛島 和廣

新型コロナウイルス感染症対策における市の状況と対応について

牛島 新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化をどの様にとらえているか。

答弁 新型コロナウイルスは国内外で死亡者を含む多くの感染者が確認され、感染者拡大を抑えるために様々な場面で感染拡大前と変化が生じています。「新しい生活様式」を取り入れると、人と人の接触機会を減らすため、外出や移動を控えることになり、経済活動や各種行事等の社会活動に大きな影響が出ています。



牛島 本年は各種選挙があるが対策は。

答弁 選挙の執行にあたっては選挙管理委員会が滞りなく執行できるように対応を取ります。

牛島 市長選挙に出馬をされるのか。

答弁 市長選挙については成さなければならぬ様々な課題があり、今後もリーダーシップを取らなければならぬと思っています。

牛島 コロナ禍における多久市独自の支援は何を行ったか。

答弁 「事業継続の支援」、「子育てや福祉活動の支援」、「ICT化などの情報通信技術推進施策」、「感染拡大防止関連事業」の4つの分野において独自の対策を実施しています。



多久市団結クーポン券



新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校での環境の変化について

牛島 学校側としてコロナ禍における子どもたちの変化をどのように捉えているのか。

答弁 健康被害や情緒面での顕著な心配はなく、視力の低下で心配な子どもの割合は通年とほぼ変わらず、また生徒間暴力についても報告も殆どありません。

ただ、昨年度と比べて子どもたちの睡眠時間が短くなっていると東原庁舎東部校の学校運営協議会で報告を受けています。

DVについては、この1年間、教育委員会が把握しているものはございません。



下校中の子どもたち